

印西大師 第76番 瀬戸・徳性院

1 名称 (No.076)〔手引鏡：徳性院〕〔資料館：徳性院〕〔行程表：徳性院〕

2 場所 印西市瀬戸2226 徳性院(とくしょういん)

瀬戸・願定院から道程約1,080m

GPS座標 35.76925746300625, 140.21764627213176

3 由緒 真言宗豊山派 合集山 徳性院 多門寺

徳性院は千葉県印西市にある真言宗豊山派のお寺です。正式名称は合集山 徳性院 多門寺です。徳性院は3回の火事にあっており記録等は灰燼に帰しています。一番古い記録で応永年間(1400年)にあった火災の記録が残っていますので、それ以前の建立である事が伝えられています。江戸時代、沼の航路安全を祈願の為、近隣寺院を併合して現在の地に建立されました。御本尊は十一面観世音菩薩で行基の作と伝えられています。子育てや学業成就に効験があり地元の皆様から親しまれ、大切にされてきたお寺です。(徳性院HPより)



4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。大師堂の隣には石柱内蔵の御大師様が1体り。

5 境内 本堂(阿弥陀如来)、観音堂(十一面観世音菩薩)、山門のほか、石造物がたくさんある。山門正面には印旛沼、その先には富士山が見える。その右方面の写真を撮ればスカイツリーも写るが肉眼で見るとは難しい。ダイヤモンド富士が見られる名所としても有名です。

6 写真 (2023.05撮影)



石柱内蔵(左)と大師堂(右)



御大師様



大師堂



本堂



石柱内蔵の御大師様



山門前から西印旛沼方面

7 情報

(1) 印西大師 第76番 徳性院 御詠歌 (泉倉寺本による)

まことにも神佛僧を開くれば 真言加持の不思議なり

四国八十八ヶ所 第76番 天台寺門宗 鶏足山(けいそくざん) 宝幢院(ほうどういん) 金倉寺(こんぞうじ) 写し

(2) 徳性院

瀬戸地区の小字・梨木にある徳性院は、正式には「合集山徳性院多門寺」(住職は荒川宥紀師)といます。本尊は十一面観世音菩薩です。

『印旛郡誌』(大正2年刊)には、この十一面観音のことを、「古老の口碑によれば行基の作」であると記しています。

寺の歴史について同誌は、「凡そ500有余年以前祝融(しゅくゆう=火災)の災い罷(こうむ)り、諸堂宇由緒共に灰燼(かいじん)す」と記しています。大正期の初めに<500有余年以前の火災で焼けた>と記載するのですから14.5世紀には存在していたことになります。

「その後、堂宇頗る壯観を極む、といえども元治元(1864)年申子年十月晦日堂宇大概焼失す」とし、さらに「今は表門と鐘楼を残すのみ」と記しています。「その後、4ヶ年を経て慶応3年に一字を再建した」とも記述しています。現在の堂宇は近年の再建です。

伝承では、寺の建立目的が航路の安全祈願にあったともいいます。琵琶湖などの湖畔にはそのような目的の寺社が見受けられるそうです。

江戸時代中期まで存在した真言宗の「雲花山常宝寺」を徳性院が糾合しています。常宝寺は承応2年の検地の時も1反歩未満というわずかですが田方の名請人となっています。しかし、徳性院の方は名請人にはなっていないので、承応検地の時、徳性院は無住寺であったのかもしれない。(松本隆志「いんざい再発見」Webより)

(3) ダイヤモンド富士

富士山頂に太陽が重なり、ダイヤモンドのように光り輝く瞬間をいいます。年2回(2月と11月)に徳性院前の道路から見るができます。ただし、肉眼では眩しくて無理なので、写真か動画に撮って見るしかありません。ダイヤモンド富士そのものは千葉ニュータウン中央駅付近でも見られますが、眺望の抜群な徳性院では印旛沼越しに見られるので、撮影に訪れる方が多いようです。

8 関連Web

○徳性院 <https://daihihaku.com/>